

ベビーカーには 寿命があります！

寿命を過ぎたベビーカーを使用し続けると、
思わぬ事故が発生する場合があります。

寿命は、使用状況や保管状態により異なりますが、新規ご購入時から使用対象月齢期間までが目安です。
使用対象月齢期間を超えてのご使用は、材料の経年劣化により、徐々に強度の低下や各部のガタツキが大きくなることで、
本来の性能を果たせず危険を招くおそれがあります。

特に、2人目のお子さま、他人への譲渡等によるご使用は寿命を超える場合がありますのでご注意ください。
また、使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

安全で安心にお使いいただくため、
寿命内でも日頃からのご注意と点検をお願いします。

安全のため、日常の自主点検をお忘れなく

✓ check 1

締結部品にゆるみが生じていないか

✓ check 2

開閉ロックの動きが悪くなっていないか

✓ check 3

本体や部品に変形・割れ・ヒビが生じていないか



ご使用上の注意

- ・ご使用前に必ず「取扱説明書」を読んで正しく、安全に使用してください。
- ・仕様対象年齢期間でも、長距離走行や走行路面、保管状態によっては、寿命が短くなります。
- ・直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に保管してください。
- ・部品の亀裂や全体のガタツキが大きくなった等の異常を感じられた場合は、下記までご連絡ください。

販売元
株式会社 **西松屋チェーン**

〒671-0218 兵庫県姫路市飾東町庄266-1

お客様相談窓口フリーダイヤル

0120-7-24028

※帯・PHS OK

受付時間10:00~18:00(土・祝日・弊社所定休日を除く)

ベビーカーを**正しく**使っておでかけしましょう！

この度は、西松屋チェーンの製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ベビーカーは赤ちゃんと一緒に楽しく快適におでかけするためにとても便利な製品です。

しかし、使い方によっては、「予期せぬお子さまのけがやベビーカーの破損」につながることもあります。

使用前に必ず「取扱説明書」を読んで正しく、安全に使用してください。

1 すべてのシートベルトを必ず締めて使用してください。

肩・腰バックルを股バックルに「カチッ」と音がするまで挿入した後、ベルトを強く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してください。



2 お子さまをベビーカーの中で立たせないでください。

お子さまは月齢が高くなるにつれ周囲への好奇心が旺盛になります。力も強くなり自分でシートベルトを外す恐れがありますので、常にお子さまの状態を確認してください。



3 2人乗りは禁止です。

ベビーカーに同時に2人以上のお子さまを乗せたり、お子さまをシート以外の所に乗せないでください。



4 お子さまを乗せたまま、ベビーカーを持ち上げないでください。

手がすべったり、フロントガードが外れたりバランスを崩し、転倒する恐れがあります。



5 お子さまを乗せているとき、カゴ以外のところに荷物をのせたり、つるしたりしないでください。

特にハンドルにつるすと不安定になり、ベビーカーが転倒する恐れがあります。



6 エスカレーターでの使用は禁止です。

階段や大きな段差のあるところ、また砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路でも転倒の恐れがあるため、使用しないでください。



7 ベビーカーの開閉の際には、そばにお子さまがいないことを確認してください。

可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかる恐れがあります。



8 ベビーカー本体には、お子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。

破損・故障や思わぬ事故につながる恐れがあります。





シンコンパクトベビーカー α

取扱説明書/保証書

このたびはお買い上げいただき、
ありがとうございます。

- ご使用前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書は、いつでもご覧になれる場所に大切に保管してください。
- 本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。製品の機能が発揮できないだけでなく大変危険です。

開封後、各部品が揃っていることを確認してください。

- ・ベビーカー本体 1
- ・フロントガード 1
- ・後車輪 2

はじめに

ご使用前に	1
安全にご使用いただくために	1
各部のなまえ	4

ベビーカーの使いかた

ベビーカーの組み立てかた	5
ベビーカーの開きかた	6
車輪ストッパーの使いかた	7
フロントガードの使いかた	7
幌の使いかた	8
フットレストアジャスターの使いかた	8
シートベルト(股ベルト・腰ベルト・肩ベルト)の使いかた	9
背もたれの使いかた	11
折りたたみかた	12

その他

日常のお手入れ	14
保管のしかた	14
廃棄方法について	14
ベビーカーの「標準使用期間」について	裏表紙
保証書	裏表紙

ご使用の前に

- この製品は、一般家庭でお子さまを乗せ、外気浴、買い物などに使用するための1人乗り乳母車(ベビーカー)です。
- 望ましい連続使用時間：2時間以内(ただし、7ヶ月以上を対象にした座位使用時は1時間以内)
- 使用の範囲：生後1ヶ月以上※36ヶ月ころまでで、体重15kg以下のお子さま(お子さまの発育により個人差があります)
※生後1ヶ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ胎週数37週以上を満たし、1ヶ月経過したお子さまを示します。
- ご使用の前に、裏表紙「保証書」に次の項目を記入してください。
 - ①ロットNo.(後脚後側から見て右のパイプに貼ってあるシールに記載されています。)
 - ②お客様のお名前・ご住所・電話番号
 - ③販売店名
- 領収書(レシート)、または保証書シール、またはお買上票を本書といっしょに保管してください。

安全にご使用いただくために

- 製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよびご使用者が重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。
- ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、お子さまおよびご使用者への危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」・「注意」の2つに区分して示してあります。安全のため必ずお守りください。

表示	表示の内容
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の可能性があります。

※お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

	警告/注意をうながす内容があることを告げるものです。
	禁止行為であることを告げるものです。
お願い	補足の説明を示すものです。

 **警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

お子さまが落ちるおそれがあります。

- すべてのシートベルトを「カチッ」と音がするまで確実に締めて使用してください。
- 肩ベルトは、お子さまの体形にあわせて調整してください。長すぎると首に巻きつく危険があります。



- お子さまをベビーカーの中で立たせないでください。
- お子さまは思わぬ動作をしますので、シートベルトを締めていても立ち上がるおそれがあります。目を離さず、十分注意してご使用ください。





警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

お子さまが落ちたりベビーカーが折りたたまれたりするおそれがあります。

- ロックが確実にかかっていること(ベビーカーが完全に開いた状態であるか)を確認してから使用してください。ハンドルを持って前輪を浮かし軽くゆするなどして確実にロックしているか確認してください。



- お子さまを乗せたまま、フロントガードを持つなどしてベビーカーを持ち上げないでください。手がすべったり、フロントガードがはずれたりバランスを崩し、転倒するおそれがあります。



- 階段、エスカレーター、大きな段差のあるところ、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。



- 破損や異常が発生した場合は使用を中止し、当社までご連絡ください。



ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

- お子さまを乗せているとき、カゴ以外のところに荷物をのせたり、つるしたりしないでください。特にハンドルにつると不安定になり、ベビーカーが転倒するおそれがあります。



- ベビーカーに同時に2人以上のお子さまを乗せたり、お子さまをシート以外の所に乗せたりしないでください。



- ご使用中にハンドルによりかかたり、荷物をつるしたりするなどハンドルへの過度の荷重はかけないでください。また、ベビーカーに大人が腰かけたり、過度の荷重をかけたりすると破損、故障の原因になります。



- お子さまが乗り降りする際は、ベビーカーが不安定になり転倒するおそれがありますのでしっかりと支えてください。また、必ず車輪ストッパーを左右ともにロックし、ベビーカーが動かないことを確認してください。



- お子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けしないでください。ベビーカーの操作に悪影響を与え転倒するおそれがあります。また、過度の荷重がかかりベビーカーが破損します。



- 排水溝のふた(グレーチング)や踏切、路面の溝など、溝がある路面を通るときは、溝に車輪をとられたりはさまったりするおそれがあります。注意しながらゆっくり進んでください。車輪がはさまったときは、そのまま無理に走行して車輪を抜こうとせずに、フレームを持って、車輪を引き抜いてください。

ベビーカーが動き出したり転倒したりするおそれがあります。

- 車輪ストッパーを過信しないでください。車輪ストッパーをかけていても、動き出したり転倒したりするおそれがあります。



- お子さまを乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。
- ベビーカーは空車であっても、坂の途中、車道に近い歩道など危険な場所に放置しないでください。





警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

指をはさむなど思わぬケガをするおそれがあります。

- ベビーカーの開閉やリクライニング操作時には、他人や小さいお子さまを近づけずに行ってください。指をはさんだりするおそれがあります。
- 幌を開いたり折りたたんだりするときには、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足などはさむおそれがあります。



注意

誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の可能性がります。

- お子さまを乗せる以外の目的で使用しないでください。目的以外の使用では破損などのおそれがあります。
- お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お子さまの乗車時はもちろん空車であってもフロントガードを持って持ち運ばないでください。ベビーカーが急に折りたたまれたり、フロントガードがはずれたり、手がすべって落下するおそれがあります。
- フロントガードを引っぱって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損のおそれがあります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。
- お子さまを乗せたとき、シートベルト(肩ベルト、腰ベルト、股ベルト)を締め、ベルトにゆるみがないことを確認してください。お子さまが抜け出したり、落下したりするおそれがあります。
- おすわりができないお子さまの場合は、背もたれを倒した状態でご使用ください。
- 背もたれを最も倒した状態でもお子さまが窮屈な場合は、背もたれを中間位置まで起こしてご使用ください。ただし、この使用方法は寄りかかっておすわりができるお子さまに限りです。
- お子さまの頭がヘッドレストに当たる場合は、背もたれを最も倒した状態で使用しないでください。
- ベビーカーを押すときは走らないでください。走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
- 出荷時に取り付けられている部品、および当社指定の部品以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- カゴには5kg以上の荷物を入れしないでください。破損の原因となります。
- 段差を乗り越える場合は、前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。段差を無理に乗り越えようとすると、前輪に衝撃が加わり、破損・故障の原因となります。
- 折りたたんだ状態で持ち運ぶ場合は、フロントガードを持たないでください。フロントガードの破損・故障の原因となります。
- 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。ベビーカーだけでなくご使用者も転倒するおそれがあります。
- 風の強いときには使用しないでください。勝手に動き出したり、転倒したりするおそれがあります。
- 雷のときは使用しないでください。落雷のおそれがあります。
- 夏季の晴天日中などは、路面の影響によりベビーカー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。
- 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での放置、保管は避けてください。故障や変形の原因となります。
- ベビーカー本体の上に荷物などを重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。
- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ご使用の前に、ネジやナットなどにゆるみがないか確認してください。ゆるみやきしみがある場合は使用を中止し、必ず当社へご連絡ください。部品に異常なゆるみやきしみがあったり、部品の欠落、車輪の回転が円滑でない場合は、重大な事故につながるおそれがあります。
- 長時間の使用禁止
長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。寝かせた姿勢では2時間以内、すわせた姿勢では1時間以内で休憩をとるなどしてください。
- バスの中では使用しないでください。本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 本製品は、電車などの移動交通機関の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車などの中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ず車輪ストッパーをかけて、十分注意してご使用ください。
- 電車などのご利用時に、無理な乗り降りはいしないでください。ベビーカーが電車などの自動ドアにはさまれても感知されない場合があり、重大な事故につながるおそれがあります。

各部のなまえ



ベビーカーの組み立てかた



警告

車輪は左右とも必ず取り付けてください。

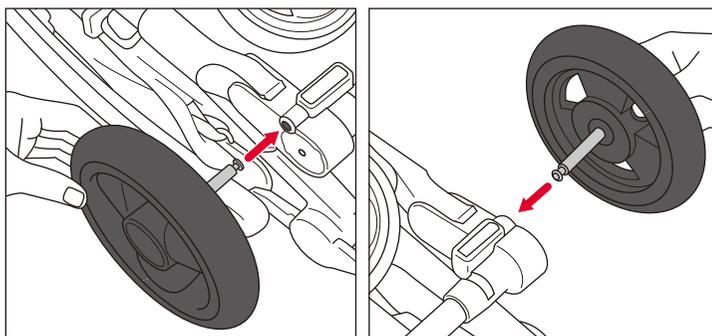
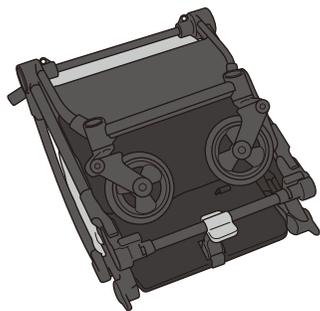


注意

ベビーカーを閉じた状態で作業してください。開いた状態で作業すると、ベビーカーが転倒してけがをするおそれがあります。

1. 後車輪の取り付け

- ① 車輪が上になるようにベビーカーを寝かせる。
- ② 後車輪(左右)を本体の穴に、カチッというまで挿し込む。
※車輪に左右はありません。

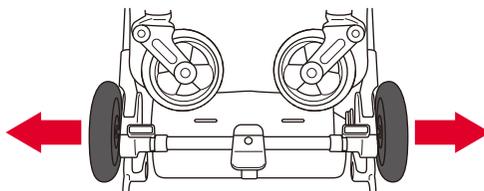


- ③ 車輪を引っ張り、確実にロックされ外れないことを確認する。



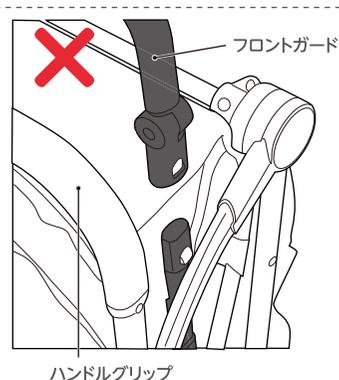
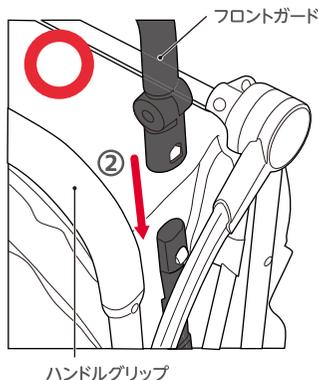
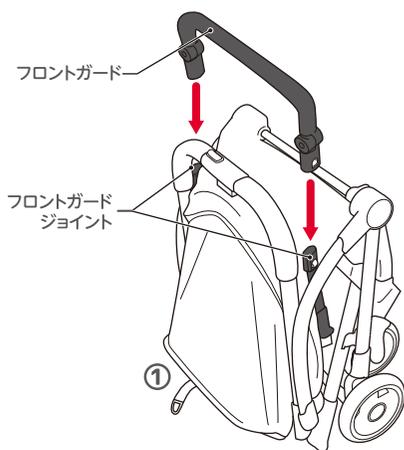
警告

車輪がロックされていないと、車輪が抜けベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。



2. フロントガードの取り付け

- ① ベビーカー本体を立てる。
- ② 本体左右のフロントガードジョイントに合わせてフロントガードを取り付ける。
- ③ フロントガードを引っ張り、確実にロックされ、外れないことを確認する。



警告

フロントガードを取り付けた後、確実にロックされているか引っ掛けて確認してください。ロックが不完全ですとお子さまが転落するなど重大な事故につながるおそれがあります。

お願い

フロントガードには上下の向きがあります。向きが違くと取り付けできませんので正しい向きで取り付けてください。

ベビーカーの開きかた



警告

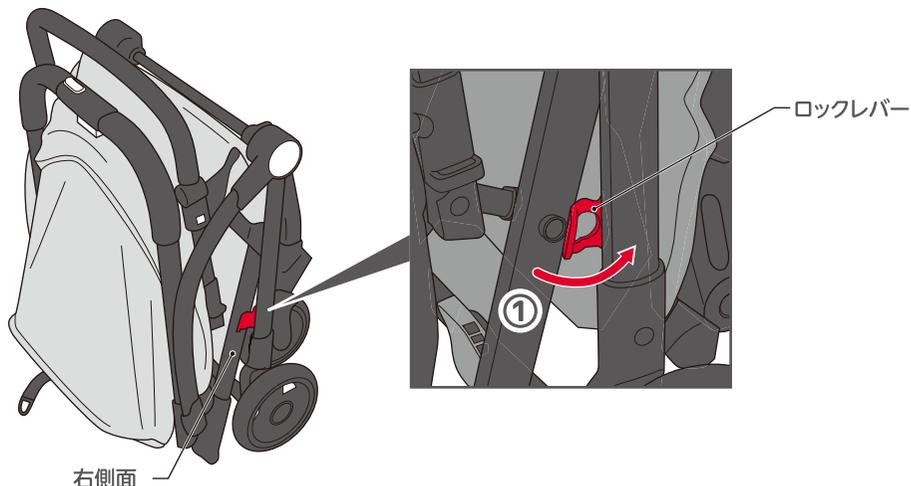
- ・ベビーカーを開くときは、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- ・お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。



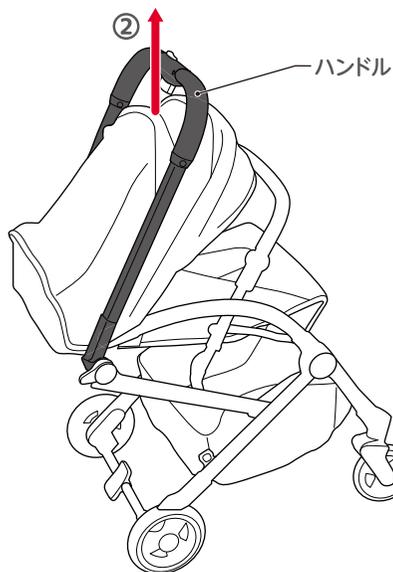
注意

- ・何かに引っかかっていたり、はさみ込まれていたりする感じがある場合には、一度たたんで(ベビーカーを閉じて)原因を確認してください。無理に開くとベビーカーが破損するおそれがあります。

① 本体右側面のロックレバーを外す。



② ハンドルを上方へ持ち上げる。



③ ハンドルを後方へ倒しロックさせる。



警告

ベビーカーを開いたあと、ロックがかかっていることを必ず確認してください。ロックされていないと、ベビーカーが急にたたまれたり、倒れたりして、転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。

車輪ストッパーの使いかた



- ・車輪ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。
- ・お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。
- ・お子さまを乗せ降ろするときは、必ずストッパーをかけてベビーカーが動かないことを確認してください。
- ・ベビーカーは空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。

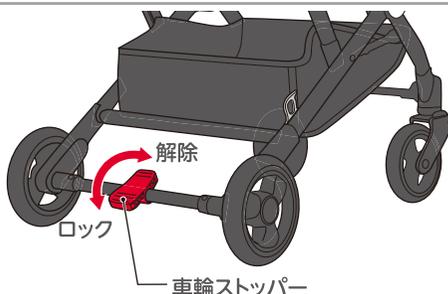
ベビーカーを停止させているときには、必ず車輪ストッパーのロックをかけてください。

車輪ストッパーをロックするとき

- ① 車輪ストッパーを押し下げてロックする。
- ② ベビーカーを軽く前後に動かしてストッパーのロックがかかっていることを確認する。

車輪ストッパーのロックを解除するとき

車輪ストッパーを押し上げる。



フロントガードの使いかた



- ・フロントガードに関係なく、お子さまを乗せるときには必ずシートベルトを締めてください。
- ・フロントガードはお子さまの抜け出しや立ち上がりを防止するものではありません。
- ・フロントガードボタンはお子さまには操作させないでください。落下などのおそれがあります。
- ・フロントガードを持ってベビーカーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードが抜け落ちるおそれがあります。



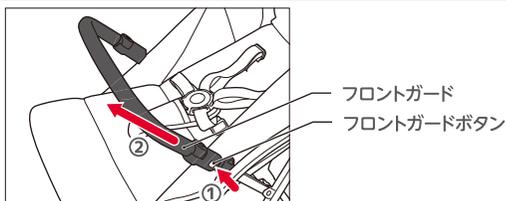
- ・フロントガードを引っばって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損やお子さまのケガの原因となります。
- ・フロントガードには過度の力を加えないでください。また、必要以上に広げたりしないでください。故障や破損の原因となります。

フロントガードを開くとき

- ① フロントガードボタンを押し
- ② フロントガードを前方向に引き抜く。

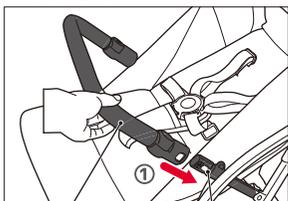


フロントガードは左右どちらでも開けます。取り外すこともできます。



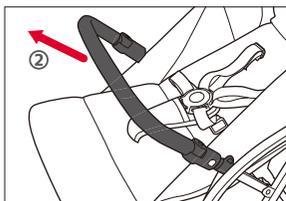
フロントガードを閉じるとき

- ① 本体のフロントガードジョイントに合わせてフロントガードを取り付ける。
- ② フロントガードを引っばり、確実にロックされ、外れないことを確認する。



フロントガード

フロントガードジョイント



フロントガードを取り付けた後、確実にロックされているか引っばって確認してください。ロックが不完全ですとお子さまが転落するなど重大な事故につながるおそれがあります。



左右とも取り外したフロントガードを取り付ける際フロントガードには上下の向きがあります。向きが違くと取り付けできませんので正しい向きで取り付けてください。

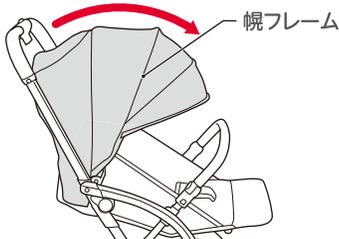
幌の使いかた



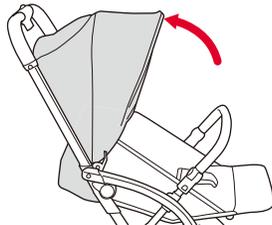
警告 幌を開いたり折りたたんだりするときには、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。



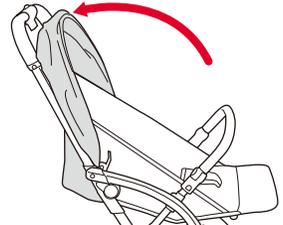
注意 幌は日よけの役割をしますが、完全に日ざしを遮るものではありません。無理に引っばったり広げたりすると、生地がやぶれたり幌が破損したりするおそれがあります。



① 幌を使用するときは幌フレームを持ち幌を前方に広げます。

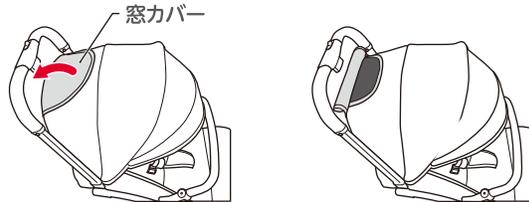


② 前部分を内側に折り返すことでお子さまの視界をさまたげず日よけになります。



③ 幌を使わないときは幌をたたみ後方にまとめます。

※窓カバーを開けると、お子さまのようすを見ることができます。



フットレスト・アジャスターの使いかた



・お子さまを乗せた状態で、フットレスト・アジャスターの操作をしないでください。お子さまや操作する人の、足、手、指をはさんだりするおそれがあります。
・フットレスト・アジャスターを起こした状態で、フットレストの上にお子さまを乗せたりお子さまを立たせたりしないでください。お子さまが落下するおそれがあります。

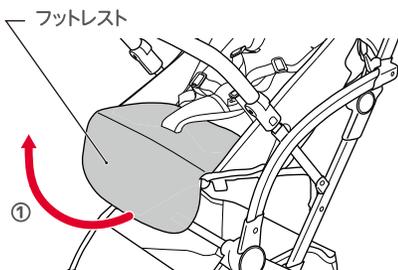


・フットレストの上に物をのせないでください。故障や変形の原因となります。
・フットレスト・アジャスターの操作時は手や指をはさまないように十分注意して行ってください。

※背もたれを倒した状態でお子さまを乗せるときは、フットレストを使用すると便利です。

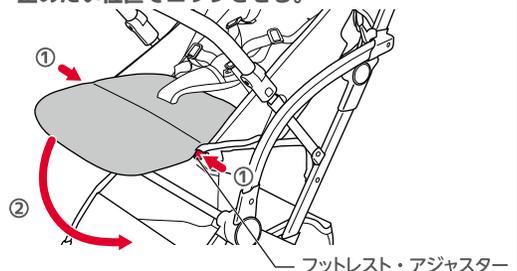
フットレストの起こしかた

① フットレストの先端中央部を持ち上げる止めたい位置でロックさせる。



フットレストのたたみかた

① フットレスト・アジャスターのボタンを左右同時に押しながら
② フットレストを下げ、止めたい位置でロックさせる。



お願い

お子さまが楽な姿勢になる位置で使用してください。

シートベルト(股ベルト、腰ベルト、肩ベルト)の使いかた

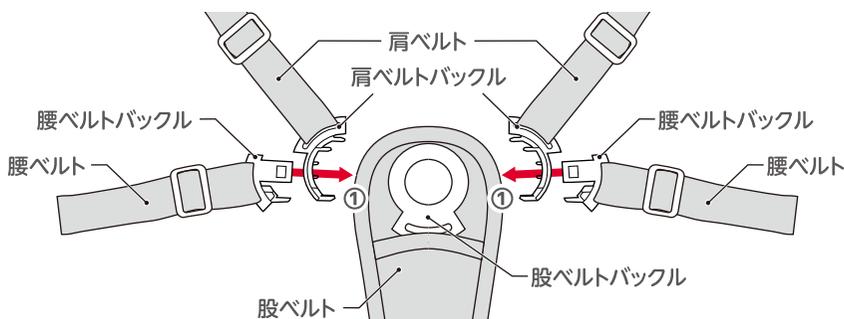


- ・必ずすべてのシートベルトを締めて使用してください。また、ベルトにゆるみがないことを確認してください。締めずに使用したり、ベルトがゆるんでいると、お子さまが抜け出したり、落ちるおそれがあります。
- ・お子さまは思わぬ動作をしますので、シートベルトを締めていても立ち上がる場合があります。目を離さず、十分注意してご使用ください。
- ・シートベルトの長さは、お子さまの体にあわせて調節し、しっかりと締めてください。肩ベルトが長すぎる状態にしておくと、首に巻きつく危険があります。

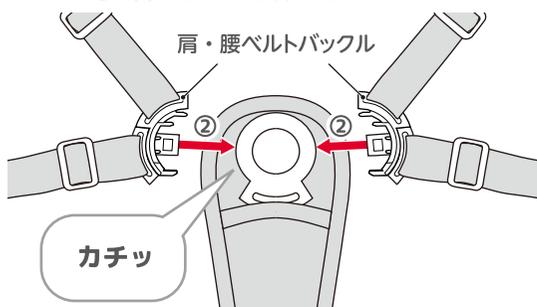
※シートベルトとは、股ベルト、腰ベルト、肩ベルトの総称です。

シートベルトを締めるとき

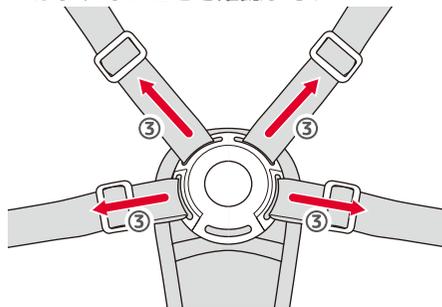
- ① 肩ベルトバックルに腰ベルトバックルを左右それぞれ挿し込む。



- ② 肩・腰ベルトバックルを股ベルトバックルに「カチッ」と音がするまで挿し込む。



- ③ 肩ベルト、腰ベルトを引っ張りはずれないことを確認する。



- ④ お子さまにあわせて肩ベルト、腰ベルトの長さを調整する。(ベルトの長さ調節は 10 ページ参照)

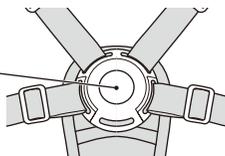


警告

- シートベルトが確実にロックされていることを確認してください。
- シートベルトを締める際、お子さまの指や手などがはさまれないよう注意してください。
- 背もたれを頻繁に倒したり起こしたりする月齢期は、下側の肩ベルト通し穴を使用してください。(肩ベルトの位置調節は 10 ページ参照)

シートベルトをはずすとき

バックルボタンを押す。

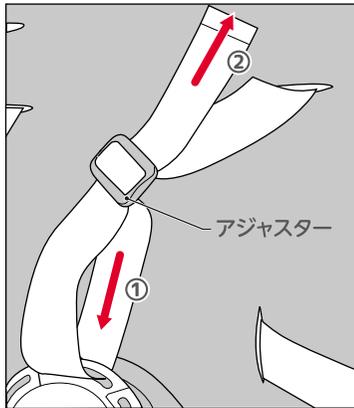


シートベルトの調節のしかた

お願い

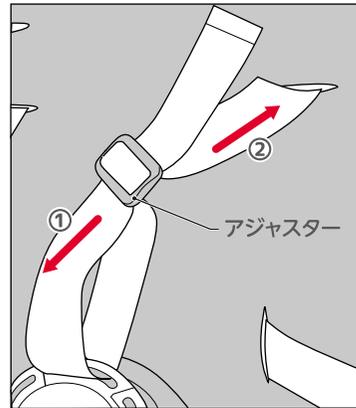
肩ベルト、腰ベルトは長さを調節できます。股ベルトは長さ調節できません。

締める(短くする)とき



- ① アジャスターを持ち
下側のベルトを矢印方向に引く。
- ② アジャスターを持ち
先端側のベルトを矢印方向に引っ張り
お子さまにあうように調整する。

ゆるめる(長くする)とき



- ① アジャスターを持ち
上側のベルトを矢印方向に引く。
- ② アジャスターを持ち
シート側のベルトを矢印方向に引っ張り
お子さまにあうように調整する。

肩ベルトの位置調節



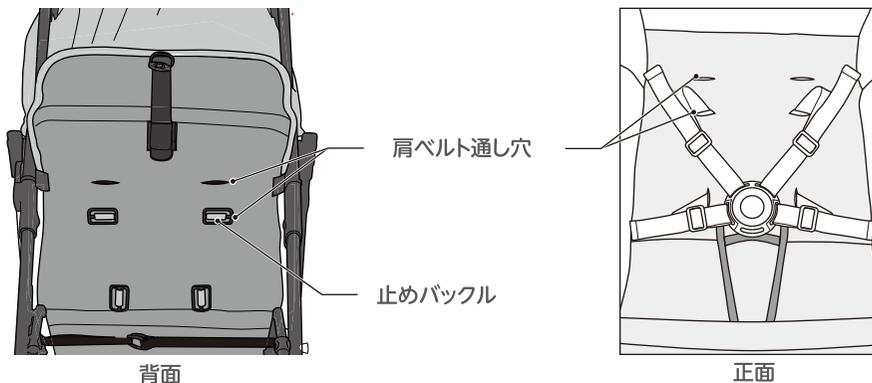
- ・おすわりができるようになったら、成長にあわせて肩ベルトの通し穴の位置を調節してください。
- ・シートベルトをお子さまの体格にあわせて確実に締めて使用しないと、お子さまが抜け出したり、立ち上がったたり、落ちるおそれがあります。

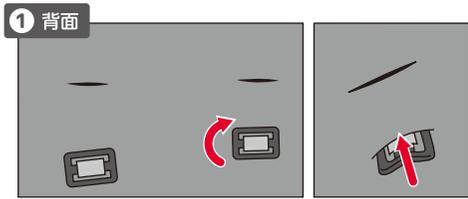
お子さまが成長し、肩の位置が合わなくなった場合には、肩ベルトの位置を変え、シートのベルト穴に通しなおし調整します。

お願い

背もたれを頻繁に倒したり起こしたりする月齢期は、下側の肩ベルト通し穴を使用してください。

- ① シート背面の止めバックルを、肩ベルト通し穴から正面側に出す。
- ② 上下のうち、お子さまの体形にあわせた肩ベルト通し穴に、止めバックルを通し背面側に出す。
- ③ ベルトのねじれを取り、止めバックルが抜けられないよう、向きを整える。

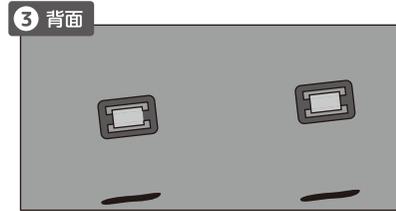




穴に通るよう止めバックルの向きを変え、正面側に出す。



肩ベルト通し穴に通し、背面側に出す。



ベルトが抜けないう止めバックルを図の向きにする。



正面側から肩ベルトを引っ張り、肩ベルト通し穴から抜けないうことを確認してください。
ベルトが抜けると、お子さまが落ちるおそれがあります。

背もたれの使いかた



- ・ベビーカーを押しながら背もたれの操作をしないでください。非常に危険です。
- ・背もたれの操作時は、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- ・お子さまを乗せたまま背もたれを操作しないでください。背もたれの操作後は、シートベルトを適切な長さに調節してください。



注意 おすわりができないお子さまの場合は、背もたれを倒した状態でご使用ください。

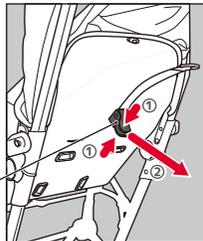
お願い 背もたれの使いかたの目安

- 1ヵ月～首がすわるまで：背もたれは最も倒した状態でご使用ください。
- 首がすわってから、ひとりでおすわりができるまで：最も倒した状態から中間位置まで起こした状態でご使用ください。
- ひとりでおすわりができるようになったら：最も倒した状態から最も起こした状態でご使用ください。

背もたれの倒しかた

- ① リクライニングバックルを上下からつまみながら
- ② 後側へ引っ張り、背もたれを倒す

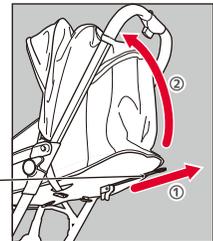
リクライニングバックル



背もたれの起こしかた

- ① リクライニングベルトを上方に引っ張り
- ② 背もたれを起こす

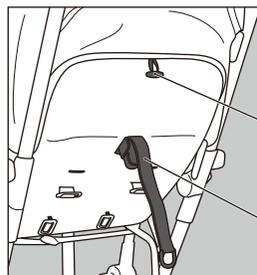
リクライニングベルト



お願い

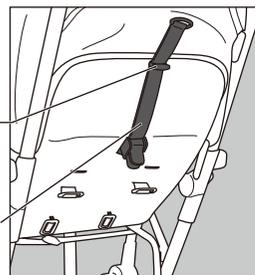
背もたれを起こしたときは、リクライニングベルトをベルト留め具で、留めてください。

折りたたんだとき、リクライニングベルトが地面について汚れるのを防ぎます。



ベルト留具

リクライニングベルト



折りたたみかた



警告

- ・お子さまを乗せたまま絶対に折りたたみ操作を行わないでください。重大な事故につながるおそれがあります。
- ・ベビーカーを折りたたむときは、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- ・お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・スライドボタン、折りたたみボタンは折りたたみ操作時以外は動かさないでください。

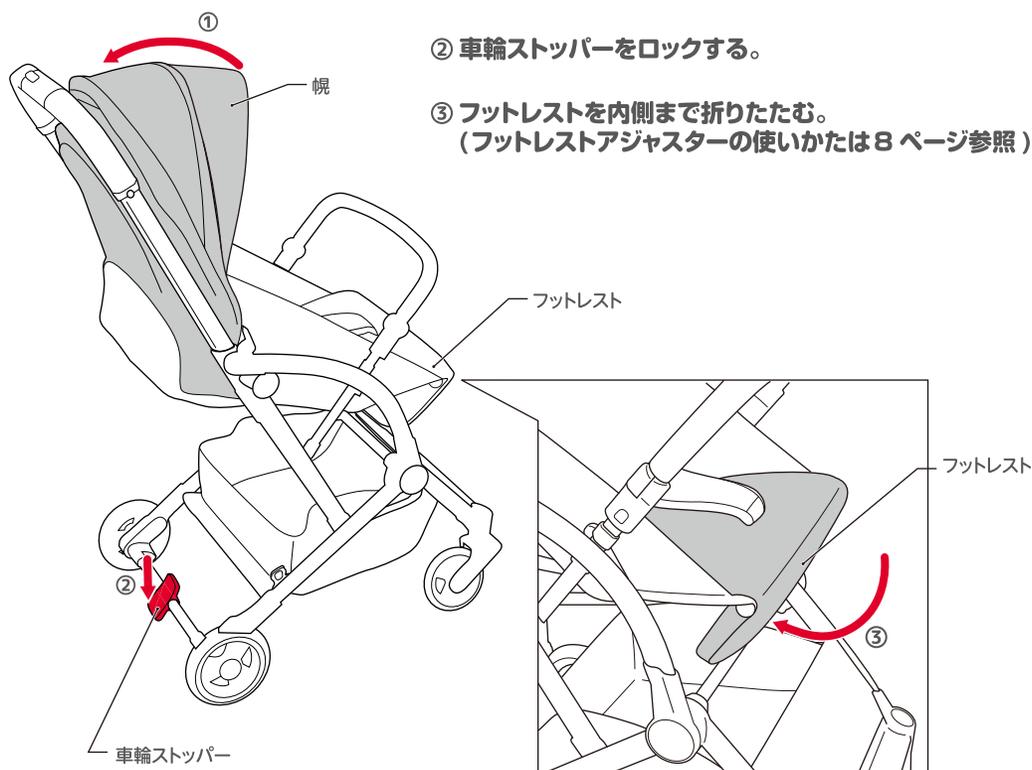


注意

- ・スライドボタンを解除させずに折りたたみボタンを握らないでください。無理に操作すると破損するおそれがあります。
- ・何かに引っかかっていたり、はさみ込まれていたりする感じがある場合には、一度開いて原因を確認してください。無理に折りたたむと破損するおそれがあります。
- ・折りたたむ前に、カゴに何も入っていないことを確認してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。
- ・折りたたむ前に、幌が完全にたたまれハンドルの位置にまとめられていることを確認してください。幌の変形や破損の原因となります。
- ・折りたたむときは、車輪ストッパーをロックしてください。車輪がロックされていないと、折りたたむ際にベビーカーが倒れやすくなります。

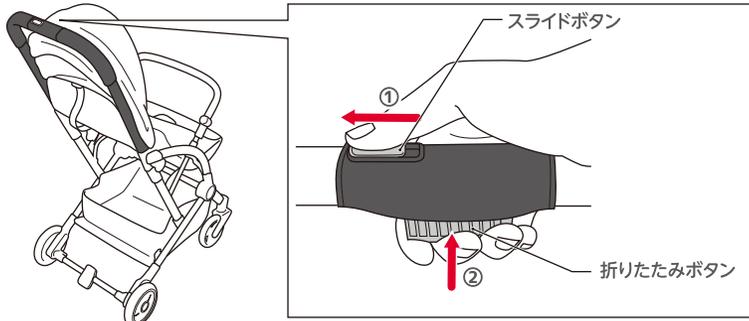
折りたたむ前に

- ① 幌をたたむ。
- ② 車輪ストッパーをロックする。
- ③ フットレストを内側まで折りたたむ。
(フットレストアジャスターの使いかたは8ページ参照)

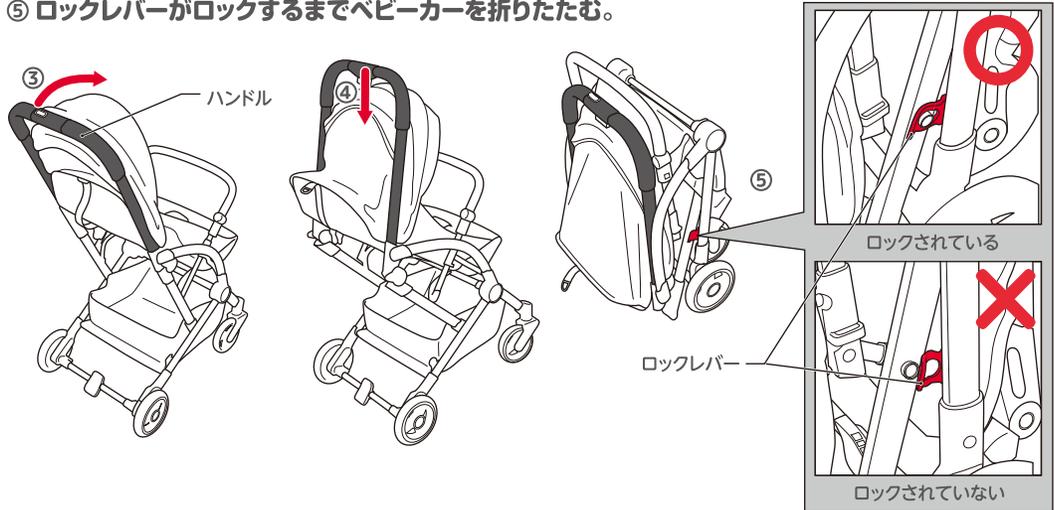


折りたたみ

- ① スライドボタンをスライドし、
- ② スライドボタンをスライドさせたまま、折りたたみボタンを握りロックを解除する。



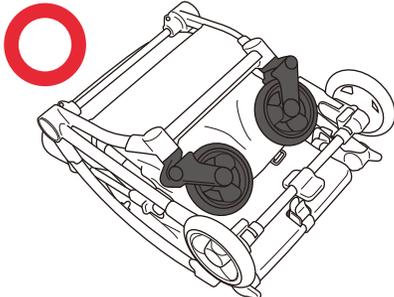
- ③ ハンドルを前方向に倒し
- ④ ハンドルが垂直より前方向まで倒れたら、ハンドルを押し下げるようにして
- ⑤ ロックレバーがロックするまでベビーカーを折りたたむ。



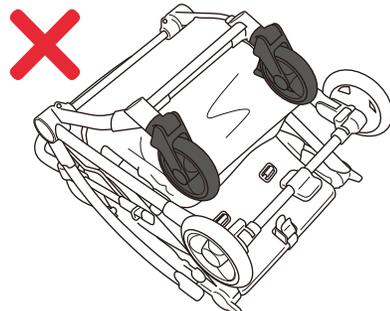
警告
ロックレバーがロックされていることを必ず確認してください。
ロックされていないと、ベビーカーが意図せず開いたり、倒れたりしてけがをするおそれがあります。



注意
・前車輪が誤った向きになっていると、前車輪と車体が干渉して折りたためません。
そのような場合は、前車輪の向きを調整してから折りたたみしてください。
・折りたたんだ状態で持ち運ぶ場合は、フロントガードを持たないでください。
フロントガードの破損・故障の原因となります。



正しくたためている状態



前車輪が車体に当たりたためない状態

日常のお手入れ

縫製品の清掃について



注意

- ・プラスチック部分やホックなどでケガをしないように注意してください。
- ・製品の特性上、若干色落ち、色あせすることがあります。
- ・洗剤は、蛍光増白剤、漂白剤、酵素などを含まない中性洗剤を使用してください。
- ・事前に洗剤の注意書きを読んでお使いください。
- ・保管状態により、カビが発生することがあります。汚れたら清掃をし、清潔に保つよう心がけてください。

- 30℃以下の液温の洗剤をつけたブラシやスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。

車体の清掃について



注意

車体の清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

- 車輪やプラスチック部品および金属部品の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含んだ布でふいた後、水を含ませよくしぼった布でふき取り洗剤が残らないようにします。

注油について



注意

お子さまがなめる可能性が高いフロントガードなどには、油が付着しないようご注意ください。

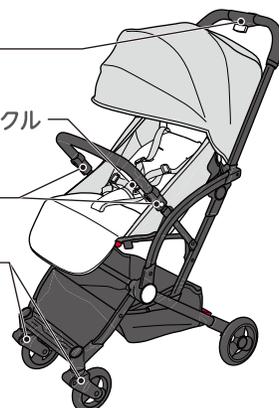
- きしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油(シリコン系)を少量、注油してください。注油するときは、注油部分の泥や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。
- 右図に示す部分には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。

✗ 手元操作部

✗ シートベルトのバックル

✗ フロントガードの
取り付け部

✗ キャスター回転部



保管のしかた



注意

火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。また荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

- 直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に立てて保管してください。屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。
- 車のトランクに入れて運ぶ場合は、背もたれ部を下にして寝かせてください。

廃棄方法について

- お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。

ベビーカーの「標準使用期間」について

本製品の「標準使用期間」は、新規購入から使用対象月齢期間までの3年間です。
購入後3年間を経過した製品については、不測の事態に備えて使用を中止してください。

- 標準使用期間を超えてのご使用は、材料の経年劣化により、徐々に強度の低下や各部のガタツキが大きくなることで、本来の性能を果たせず危険を招くおそれがあります。
- 2人目のお子さま、他人への譲渡等によるご使用は、標準使用期間を超える場合がありますのでご注意ください。また、使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管状態により故障する場合があります、この期間の品質を保証するものではありません。保証書に記載している保証期間を過ぎた場合は有償修理となります。

-
- 製品の品質向上のため予告なく仕様を変更する場合があります。

この商品の品質で、お気づきの点がございましたら
お手数ですが右記までご連絡ください。

販売元

株式会社 西松屋チェーン

〒671-0218

兵庫県姫路市飾東町庄266 -1

【お客様相談窓口】

フリーダイヤル 0120-7-24028

受付時間 10:00 ~ 18:00

(土・日・祝日・弊社所定休日を除く)